

発行 下諏訪町教育委員会
編集 生涯学習
編集委員会

〒393-8501
長野県諏訪郡下諏訪町4611-40
(下諏訪総合文化センター内)
☎ 0266-27-1111(内線718)
FAX 0266-28-0131
E-mail=syougai@town.
shimosuwa.lg.jp

健全育成研究集会

全体テーマ：心身ともに健全な子どもの育ちを願い、一人ひとりの子どもが輝くために、学校・園・家庭・地域が連携して取り組む健全育成のあり方を考える。

8月3日に、町の健全育成研究集会が行われました。全体テーマのもと、11の分科会に分かれて、現在の下諏訪町が抱える教育課題について話し合われました。多岐に渡った分科会の中から、2つの分科会の様子をレポートと参会者の声を中心にお届けします。

第6分科会「プロジェクトM」～みーたまさん完成への道のり～

花田養護学校中学部



みーたまさんの原案

○みーたまさんって？
本校は肢体不自由児のための特別支援学校で、児童生徒の多くは「信濃医療福祉センター」に入所し、自宅から離れて生活している。外出の機会が少ない児童生徒に、地域の方との交流を通して、経験を広め積極的な態度を育てたいと願っている。
みーたまさんは、中学部三年生が、「体験的な学習で毎年お世話になってきた御田町のおかみさんたちにお礼がしたい。御田町商店街を元気にしたい」という気持ちから、自分たちでできることを考える中で、各地で話題のゆるキャラを御田町に作ってあげたいという願いから生まれた。今から二年前のことです。

○夢はふくらみ、
人形制作へ
デザインを考
え、おかみさん
たちに見せたところ、なんと正式に採用され、
3D化の予算五
万円もいただいた。
翌年、高等部に進学した生徒二人、中学部の生徒三人が中心になって新しくクラブを発足させ、制作に取りかかった。いざ始めてみると、3Dのデザインから材料の買い出し、頭部をス
タイロ板でつなぎ合わせる事
など、苦労の連続でした。
困難を乗り越え、少しずつ形
になっていくみーたまさん。
「だんだんできてきたね。」と
笑顔で語り合う姿があり、最後
の目入れの時には、皆で「バン
ザイ！」をして完成を喜び合
った。



出演依頼、待ってまーす

○無事お祭りデビュー
十一月の御田町のお祭り
で、みーたまさんが無事デビューを果
たした。生徒もイベントに参加し、
がんばったことを発表したり、
みんなで作った歌も披露したり
した。おかみさんたちも、「かわい
いし、とっても完成度の高いゆる
キャラになってますね。本当にあ
りがとう。」と喜んでくださった。
○子どもたちの一番の願い！
「みーたまさんには、ぜひ
世界中を歩いてほしいな！」

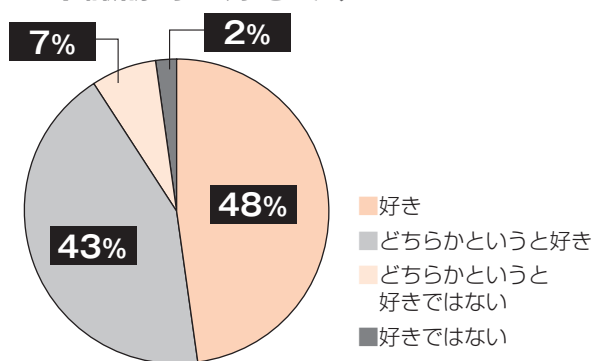
第9分科会 ～子どもの成長と町の活性化に繋がる地域との連携～

下諏訪社中学校

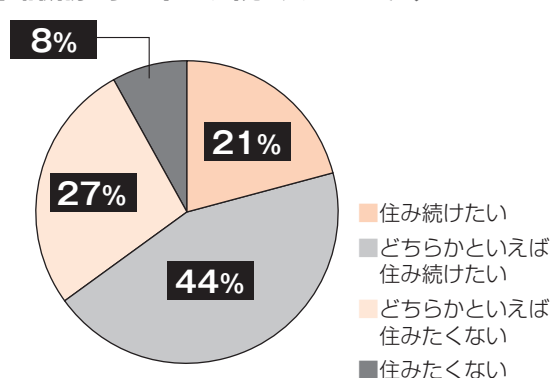
「子どもの成長と町の活性化に繋がる地域との連携はどのように進めたらよいか」第9分科会では、このようなテーマのもと、社中学校より提出されたレポートを中心に話し合いが持たれました。地域行事への子どもたちの参加の様子やノース下諏訪ネットワーク委員会との合同会議の様子なども話題になりました。

中でも、参会者の注目を集めたのは、社中学校の全生徒を対象に取られたアンケートでした。アンケートのテーマはズバリ、「下諏訪町は好きですか?」「下諏訪町に住み続けたいですか?」。下に掲げたものは、アンケートの結果をグラフ化したものです。

下諏訪町は好きですか?

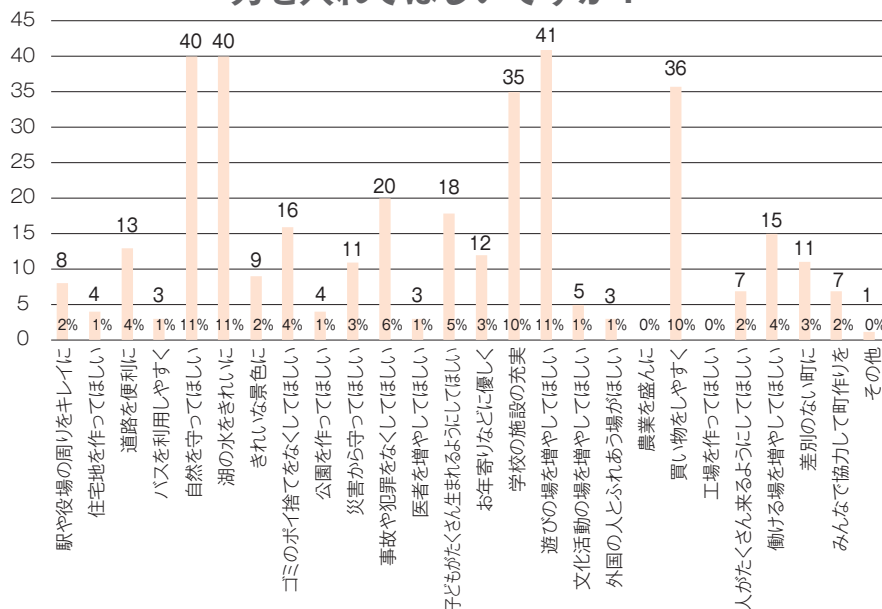


下諏訪町に住み続けたいですか?



驚きの第2弾。「これからの下諏訪町でどんなところに力を入れてほしいですか?」

これからの下諏訪町でどんなところに力を入れてほしいですか?



読者の皆さんは、どのような感想をお持ちでしょうか。「そうだ、その通り」と思われる点もあるかも知れませんが、「そんなことも?」と思われるかも知れません。これからの下諏訪町を担っていくであろう中学生対象ということで、興味は尽きません。

白熱の討論の様子の一部を紹介します。テーマについて考える一助になれば幸いです。

- ・「仲間」や他地域との繋がりを大切にする中で、子どもたちが帰ってくる地域作りをしたい。
- ・一回外に出てみて、下諏訪が一番と感じれば帰ってくるだろう。活性化の目標も必要。
- ・地域全体で子どもを叱ったり、相談にのる体制がある。年ごとに良くなってきた実感がある。
- ・地域の課題に学校も含めて取り組み、双方向の方向性がある。この数年、中学生の意見が採り上げられ、実現する場面も増えてきた。さらに多くの人を巻き込むことを期待したい。

お相撲さんが町にやって来た

下諏訪町コミュニティスクール（ノース下諏訪ネットワーク・なぎがまCS）学校支援合同キャリア教育事業として、荒汐部屋の力士さんたち十五名が町内の小中学校を訪れました。今回、この相撲交流実現のために大変ご尽力いただいた荒汐部屋後援会の藤井明日香さんに、交流事業に至ったいきさつや今回の交流に同行して下さった折の思いなどを寄せていただきました。

相撲を通して伝えられること

藤井 明日香（東京都在住 東高木出身）
（旧姓 長崎）



その昔、国譲りの神話で諏訪大社の祭神が力比べをしたことが相撲の始まりとされています。その起源と共に今も相撲が神事として残る下諏訪町。この地で相撲交流が実現できたことを本当に嬉しく存じております。

この相撲交流に協力してくれた荒汐部屋は日本橋浜町に部屋を構えます。元小結大豊関の荒汐親方をはじめ、おかみさん、幕内蒼国来関は以前から下諏訪町を訪れていたこともあり、今回の交流を快く引き受けてくれました。中央区のエデュコムを長年務めたおかみさんが、相撲を通じて子どもたちに伝えたいことを提案し、学校側の単なる相撲交流でなくキャリア教育の環境として位置づけたいという要望も踏まえて、第一回の交流が始まりました。



初日、最初に訪問した花田養護学校。大きなお相撲さんたちを目の当たりにした子どもたちには緊張感が走ります。が、次の瞬間、力士の傍らに男子児童が駆け寄り一緒に四股を踏み始めました。いつきに会場中が和み、力士たちとのふれあいが始まりました。装束を纏った行事が軍配を返します。力士が本番さながらにぶつかり合う迫力を眼で耳で肌で感じてもらえたことと思います。終わりの生徒会長の



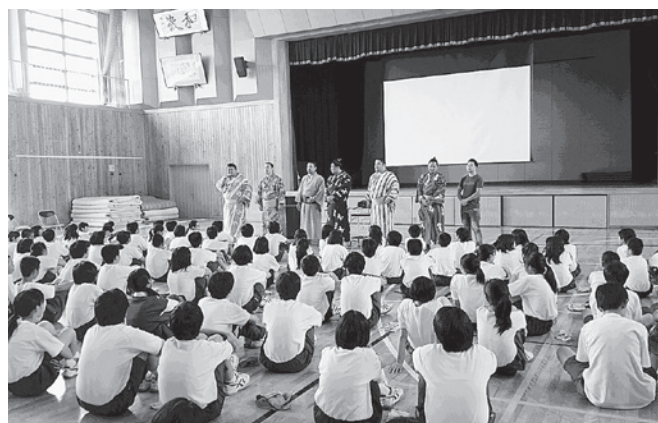
北・南小学校では、低・中各学年男女に分かれて相撲教室を開催。豆力士たちが大きな力士に果敢に挑む姿は見応えがありました。両小学校は、上社下社で行われるわんぱく相撲に積極的に関わられていることもあり、相撲に対する意識の高さを感じました。高学年には力士たちの日常生活をDVDで披露、その

挨拶は力士たちへの力強いエールでした。胸熱くなるものを感じながら次の学校へと移動しました。

後は各クラスに力士が分かれ給食交流です。「力士はただたくさん食べるわけではなく、強い体をつくるために考え食べている。それも稽古の一つ。」とおかみさんは話します。



翌日、社中学校・下諏訪中学校を訪問。生徒たちと年齢が近い力士が、言葉を飾らず、進路で悩んでいたことを話しました。そして、今は辛くとも自ら決めたことに悔いはないと言い切った姿は、生徒に勇気を与えられたことと思います。



また、蒼国来関が学校を訪れる度に必ず話すことがあります。「相撲は礼に始まり礼で終わる。勝っても負けても相手を敬い、礼を忘れてはならない。」強さだけでなく、相手を思う心も「礼儀」と関取は伝えます。この度の相撲交流は、古くから相撲と繋がりのある下諏訪町に相撲を通して何かお役に立ちたいと思うことから開催に至りました。応援している荒汐部屋のおかみさんが親友であること、旧友が町の教育委員であること

も幸いでした。そして根っからの信州人で下諏訪をこよなく愛した亡き父も私の思いを後押ししてくれたと思います。ご尽力くださった教育委員会、学校、各関係者の方々に紙面をお借りしてお礼申し上げます。この交流が子どもたち、そして大好きな故郷のために実りあるものとなることを心より願っています。

相撲部屋の日々

～お借りした写真から～



保育園特集①

保育園楽しいね！げんきいっぱいさくらっこ！

お友達といっぱい遊んで、美味しいお給食を食べて、笑顔いっぱいなこどもたちです！

体操・おにごっこ・草餅会・誕生会・七夕祭り・プール・カレー会・運動会・焼き芋会・発表会など…
たくさんの四季折々の楽しい行事があり、園生活を楽しんでいます！



毎朝、元気に体操！



お誕生日、おめでとう！
毎月、誕生児のお祝いを
します。



春はよもぎを摘んで草餅会！
ぺったんぺったんおもちつき！
草餅パーティーの始まりです



三園の年長組が集まって
“おにごっこ大会”



「いらっしやい。
いらっしやい」
お店屋さんごっこ



“仲良し会”年長さんが遊んで
くれ、プレゼントもらって、
うれしいね！



七夕祭り！
七夕バイキングの
ごちそういっぱい！
おいしいね！

夏はプール遊び！
水と仲良し！



「見て見て！大きな
さつまいも！」
焼き芋会楽しみだね！



「グレイテスト・ヒッツ」～トレイシー・チャップマン～

今回ご紹介するCDは、「ファスト・カー」「ギブミー・ワン・リ
ーズン」で知られる孤高な黒人女性シンガー トレイシー・チャップ
マンです。ギターのやわらかなメロディと温もりのある歌声が、心に響い
てきます。



他にも、洋楽DJシンガー アヴィーチーの「ストーリーズ」、クラ
シックの小澤征爾、イージーリスニングのオカリナとハープの「天国にとどく歌」、邦楽の西野カ
ナや中島みゆき等々、懐メロから演歌までジャンルも幅広くご用意しております。一人4点まで借
りられます。ご利用ください。

下諏訪町立図書館 ☎27-5555

町民大学 一下諏訪を学ぶ④

日時：11月6日（日） 午後1時30分～午後3時00分

会場：文化センター集会室 ※当日受付可（受講料100円）

①演題：「鳥居龍蔵による星ヶ塔調査の歴史的意義と諏訪の『知』」

講師：宮坂 清（諏訪湖博物館・赤彦記念館 館長）



大正9年4月25日、東京帝国大学人類学教室の鳥居龍蔵が国内で最初の黒曜石原産地の考古学的調
査を行いました。当時、日本考古学・人類学のリーダーであった鳥居はどんな目的をもって、何を知
りたくて星ヶ塔に向かったのか。近代的な学問が日本に定着していく最中に行われた星ヶ塔調査の学
史的意義を探るとともに、鳥居を招聘した諏訪の人々の「知」に対する執念を紐解こうと思います。

☎28-0002（生涯学習係）

人権を考える

この数年小中学校の参観日に行くことが多い。そ
の中で自分の子ども時代とは大きな違いを感じてい
る。

私の小中学校時代は、一クラスの子どもたちが五
十人もおり、子どもたちも先生の指導により、規律
を守り皆が同じことをすることが多かった。

今は、一人ひとりが自分の個性を出しながら勉強
している。グループ毎の話し合い、友達同士の教え
合い、図工や絵画での自分の好きなテーマの設定な
ど、先生は一人ひとりの個性を大事にしながら授業
を進めている。

また子どもたちの中には、読むことや書くことに
時間がかかったり、友達と話すことが苦手だったり、
長時間じっとしていることが苦手だったりする子も
いる。それでも学校では、一人ひとりの子どもの気
持ちを大切に「皆が友達」と、誰もが一緒に活動で
きるよう支援している。

社会人になった時、自分の周りにはいろいろな個
性を持った人たちがいる。その中で生きていくため
には、お互いの個性を認め合いながら、自分の主張
もでき、助け合っていくことが必要である。そのこ
とを学校生活の中で自然と学んでいるのだと思う。

「お互いの存在を認め合い、自分の個性を活かし
て社会生活を送ることが、重要になっている」と教
えられる授業参観である。

（久保田 利広）